

12 大雨・洪水・雷

【大雨によって起こる災害】



■大雨とは？

大雨とは「災害が発生するおそれのある雨」のことを言います。山の方では土砂災害、町中では低い土地への浸水が始まり、避難の判断を迫られる段階です。「このくらい大丈夫」という油断が通用しない、命を守る行動を意識すべき強さを指します。

大雨の際には、どんな場所でどんな危険が予想されますか？

近年の気候変動により、大きな被害を伴う『線状降水帯』による集中豪雨が、毎年のように全国各地で発生しています。短時間に狭い範囲で急激に状況が悪化するため、いつ避難すべきかの判断が非常に難しいのが特徴です。

また、台風や前線の影響による大雨による災害も深刻化しています。限られた地域に降る大雨は、急速に発達した積乱雲が原因となっています。また、積乱雲が発生した際には、竜巻や雷による災害の危険性も高まります。



積乱雲



竜巻



雷

大雨によって避難するときに気を付けなければならないことは何だろうか？

○洪水について

【外水氾濫被害】

大雨の時等に、川の水位が上がり、堤防が決壊して周辺の家や土地が浸水する。(石巻地区では北上川に面した地区)

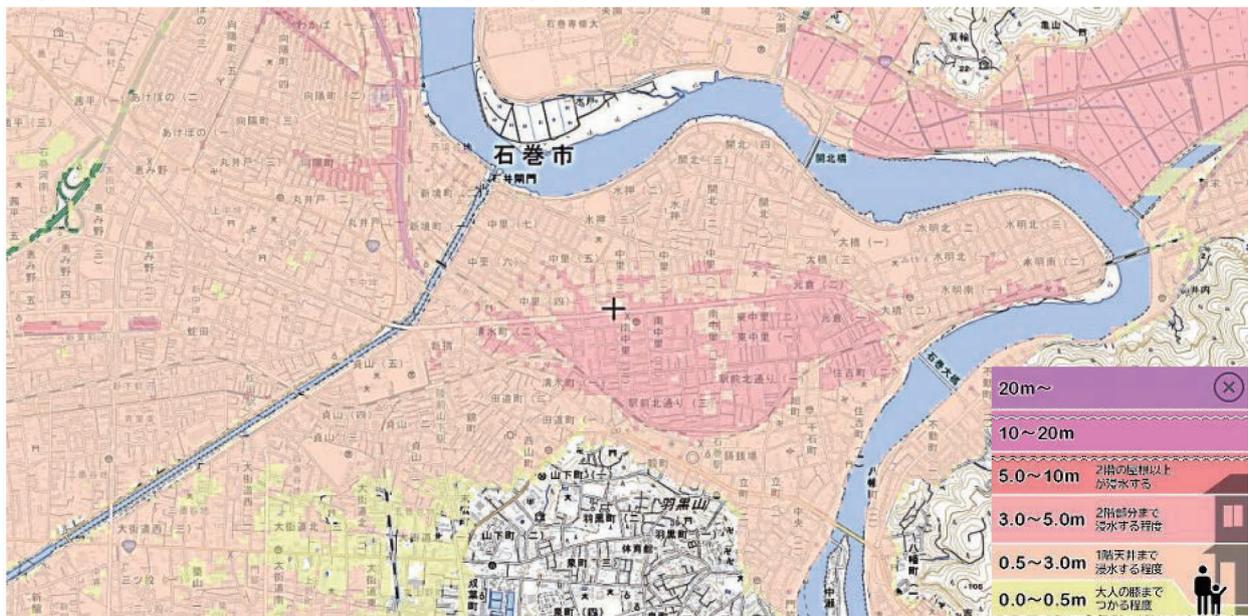


【内水氾濫被害】

1時間に50mmを超えるような強い雨が降ると、水路や下水道の処理能力を超えた水があふれて道路、住宅の浸水を引き起こす。(石巻地区では、石巻中心部の市街地)



洪水ハザードマップ (石巻市中心市街)



国土地理院
「重ねるハザード
マップ」



国土地理院
「洪水はなぜ
起こる？」



気象庁
「雷活動度 (雷
ナウキャスト)」



自分たちが生活する地域の洪水の危険性について考えてみよう。

